

# 事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

11296

鳴神貝塚整備事業

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施策	3	文化財の保護・活用
取組方針	1	文化財の保護

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	総務費		
	項	文化スポーツ費		
	目	文化財保護費		
	大事業	文化財保護事業		
	中事業	鳴神貝塚整備事業		

事業種別	継続		関連個別計画			
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	文化振興課	洲崎 敬一郎 435-1194
事業実施の根拠法令	文化財保護法		関連課			

## 1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
	国指定文化財(史跡)鳴神貝塚を適正に保存・整備する。		国指定文化財(史跡)鳴神貝塚を史跡公園として整備する。			
事業内容	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	
	より適正な保存・整備方法を検討するとともに、維持管理のための除草を行う。	より適正な保存・整備方法を検討するとともに、維持管理のための除草を行う。	維持管理のための除草を行う。 史跡指定地内の民有地を買収する。	維持管理のための除草を行う。 史跡指定地内の民有地を買収する。(令和3年度から文化財保護事業に統合)	維持管理のための除草を行う。 史跡指定地内の民有地を買収する。(令和3年度から文化財保護事業に統合)	

## 2 事業コスト

事業費等(千円)	平成30年度		平成31年度		令和02年度		令和03年度		令和04年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	206	206	209	0	209	209	0	0	0	0
伸び率(%)	0%	0%	1.5%	△100%	0%	0%	△100%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	1,599	1,679	1,853	1,853	2,071	2,071	2,071	0	0
	正規職員以外	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	1,599	1,679	1,853	1,853	2,071	2,071	2,071	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源(税等)	206	206	209	0	209	209	0	0	0	0
所要人数(人)	正規職員	0.20	0.21	0.23	0.23	0.26	0.26	0.26	0.00	0.00
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳	樹木等処分委託料 209千円									

## 3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
土地購入		件	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	0	0	0		
			達成度(%)	0%	0%	%	%	%
公有化面積(累計)		㎡	目標値					
			実績値	664.49	664.49	664.49		
			達成度(%)	0%	0%	%	%	%
成果指標			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					

#### 4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか		達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	○ 達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

#### 5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	土地購入は整備事業の基盤であり、所有者の方々と交渉を続けていきたい。
見直し・改善内容	本格的な整備までに説明板を追加するなどして、史跡公開の充実を図ることを検討する。平成24年度には、国庫補助事業により、パンフレットや説明板を設置した。パンフレットは周辺の小中学校に配布し、近接する花山温泉にも置いてもらっている。